

日本で最大の感染症『結核』を知って下さい！！

結核とは？

結核は、大正時代から昭和20年代までの長い間「国民病」「亡国病」と恐れられ、死亡原因の第1位でした。今では、医療や生活水準の向上により薬を飲めば完治できる時代になりましたが、1日に86人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている我が国最大の感染症なのです。

① 高齢者の結核患者が増えています

人口の高齢化に伴って、結核患者も高齢者の割合が増加傾向にあります。若い頃、結核が流行していた世代の人は、結核に既に感染している人が多く、加齢や糖尿病、大きな手術などで体力・抵抗力が低下した時に眠っていた菌が目覚まし、発病しやすくなります（既感染発病）。また最近では、新たな菌に再び感染し、発病する方も増えています。

② 学生・社会人の集団感染が後を絶ちません

若い世代の多くは、結核菌に未感染のため、結核菌を吸い込むと感染しやすく比較的早い時期に発病する危険があります（初感染発病）。

また、結核は過去の病気と思いこみ、症状があらわれていても本人も医師も気付かず、受診や診断が遅れ、集団感染を起こす事例が増えています。

③ 社会経済的弱者に結核が発見されています

大都市の住所不定者など、発見や治療が難しい人々の間に結核が広がっています。

結核の症状は？

こんなときはすぐ病院へ行きましょう

長引く咳

痰が出る

長引く倦怠感

長引く微熱

胸痛

体重減少

結核の予防方法は？

① 結核に関心を持ち、正しく知ることです。

咳が2週間以上続く場合は、早めに医療機関で受診することが大切です。

② 乳児期のBCG接種で結核の免疫力をつける

抵抗力のない赤ちゃんは、感染すると重症の結核を発病しやすく、生命にもかかわることがあります。これを予防するのが、BCG（結核の免疫をつけるための予防接種）で、効果は15年程度続くと言われています。生後6ヶ月までには、必ず接種しましょう。

③ 抵抗力をつけ結核をはねつけよう

結核は抵抗力が弱まったときに発病します。そのため、日頃から十分な睡眠と食事、適度な運動などを心掛け、体調を整えましょう。

どんな検査でわかるの？

① レントゲン検査

（結核を発病したかを判定します）

※町では65歳以上の住民の方を対象に年1回結核レントゲン検査を実施しています。

② ツベルクリン反応検査

（結核に感染したかどうかを判定します）

③ 喀痰検査

（痰の中の結核菌の有無などを調べます）

結核にかかってしまったら？

薬をきちんと飲めば治ります。結核と診断されたら、4種類の薬を6ヶ月間毎日きちんと服用すれば完治できます。タンの中に菌が出なくなれば、外来治療も可能です。

薬の正しい使い方を見直しましょう！！

《 薬の正しい使い方 》

1. 医師や薬剤師の説明をよく聞き、説明書や薬袋を必ず読みましょう。
2. 用法・用量を守りましょう 自分の判断で飲む量や種類、時間を変えることをしないで、指示された飲み方（用法・用量）を守ってください。
3. 正しい服用時間を守りましょう

食 前：食事のおよそ30分まえ。

食 後：食事後のおよそ30分以内。

食 間：食事と食事のあいだ。（たとえば朝食と昼食のあいだの空腹時。食事のおよそ2時間後がめやす。）

頓 服：必要に応じて飲む。

4. 薬の種類ごとに正しく使いましょう

- ・十分な量の水またはぬるま湯で飲みましょう。（およそコップ1杯がめやす）
- ・錠剤をつぶしたり、カプセル剤の内容をとり出して飲むのはやめましょう。
- ・点眼薬など目に使用する薬は、容器が直接、目に触れないようにしましょう。
2種類以上の点眼薬を使用する場合は、5分ぐらいの間隔をあけましょう。
- ・坐薬は包袋からとりだして挿入しましょう。

5. その他の注意

- ・アルコール類で薬を飲むのはやめましょう。
- ・飲み残した薬があっても、他人に譲ってはいけません。